



平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月10日

上場会社名 アリアケジャパン株式会社
コード番号 2815 URL <http://www.ariakejapan.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田川 智樹

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営管理室 部長 (氏名) 宮川 明夫

TEL 03-3791-3301

四半期報告書提出予定日 平成22年11月10日

配当支払開始予定日

平成22年12月10日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	12,442	17.1	1,629	32.4	1,204	9.1	482	21.8
22年3月期第2四半期	10,622	△0.9	1,230	△3.1	1,104	86.8	396	216.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	15.17	—
22年3月期第2四半期	12.45	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	50,466	40,716	80.2	1,272.10
22年3月期	52,561	42,088	79.6	1,314.97

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 40,489百万円 22年3月期 41,854百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
23年3月期	—	20.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,600	20.6	4,130	42.3	4,100	38.2	2,060	59.2	64.72

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他の情報」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無
新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）
(注)当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 有
(注)簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無
(注)「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)
① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 32,808,683株 22年3月期 32,808,683株
② 期末自己株式数 23年3月期2Q 979,802株 22年3月期 979,644株
③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 31,828,978株 22年3月期2Q 31,829,294株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了しており、本日付で四半期レビュー報告書を受領しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	2
2. その他の情報	3
(1) 重要な子会社の異動の概要	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書	6
(第2四半期連結累計期間)	6
(第2四半期連結会計期間)	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)におけるわが国経済は、政府の経済政策による個人消費の下支えや堅調な企業の設備投資、輸出の伸び等を背景として回復傾向を示す場面もありましたが、一方で円高が進み株式市場も低迷を続ける中、景気の本格的な回復には至りませんでした。

食品業界においても消費者の節約志向は変わらず、猛暑の悪影響もあって依然として厳しい経営環境が続きました。

このような状況のもと、当社グループは世界最大規模の天然調味料メーカーとして、既存事業の拡大と新規事業の積極的な展開を図り、当社グループ製品の「おいしさ」「健康」「安全」を維持、向上させるとともに、収益増大に努めました。

上記諸施策の結果、当第2四半期連結累計期間(平成22年4月1日～平成22年9月30日)の経営成績は、以下のとおりとなりました。

まず売上高は、当社(アリアケジャパン(株))は、前年度に引き続き、トップセールスと、顧客の利便性を第一に考えたR&D組織構築が成果をあげ、前年同期比13.6%増(1,291百万円増)の10,787百万円となりました。

業種別の売上高を前年同期と比較すると、即席麺向けが1.8%の微増でしたが、加工食品向けは14.2%、外食産業向けは17.3%と大きく売上を増加させました。

また連結売上高は、米国、アジア、欧州の各地域の子会社とも売上を伸ばした結果、前年同期比で17.1%増加して12,442百万円となりました。

次に経常利益に関しては、当社は売上高増加による利益増加があったものの、原料費が増加(約174百万円)したほか、輸入取引の為替変動をヘッジする目的で契約しているデリバティブ取引評価損失が増加(前期127百万円の評価損、今期280百万円の評価損)したこともあり、前年同期比31百万円減少(前年同期比1.9%減少)の1,605百万円となりました。

連結経常利益は、海外子会社の業績が僅かながら改善し、前年同期比100百万円増加(前年同期比9.1%増加)の1,204百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,095百万円減少し、50,466百万円となりました。

負債は、主として短期借入金及び未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ724百万円減少し、9,749百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の減少等により、前連結会計年度末に比べ1,371百万円減少し、40,716百万円となりました。

(連結キャッシュ・フローの状況に関する定性的情報)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、税金等調整前四半期純利益が1,197百万円(前年同期比8.5%増)及び減価償却費等により、当第2四半期連結会計期間末には資金残高は12,154百万円となり、前連結会計年度末より2,640百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が1,208百万円と大幅に増加したこと等により611百万円(前年同期比1,236百万円減)の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、定期預金の払戻による収入5,162百万円及び満期保有目的の債券の取得による支出2,011百万円等の結果、2,866百万円(前年同期比4,104百万円増)の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の減少等により574百万円(前年同期比211百万円増)の支出となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績については、現時点では平成22年5月13日開示の数値から変更ありません。

2. その他の情報

(1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

① 固定資産の減価償却の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

② 棚卸資産の評価方法

当第2四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定する方法によっております。

③ 税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

資産除去債務に関する会計基準の適用

当第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響はありません。

(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,154,859	14,716,688
受取手形及び売掛金	5,244,705	4,839,007
有価証券	1,011,545	—
商品及び製品	1,578,586	1,466,383
仕掛品	548,207	477,646
原材料及び貯蔵品	1,643,613	1,523,951
繰延税金資産	160,229	160,229
その他	359,572	153,733
貸倒引当金	△2,967	△1,747
流動資産合計	22,698,354	23,335,892
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	19,054,630	19,618,002
減価償却累計額	△7,571,917	△7,330,835
建物及び構築物(純額)	11,482,713	12,287,166
機械装置及び運搬具	20,022,008	20,105,024
減価償却累計額	△14,113,431	△13,789,819
機械装置及び運搬具(純額)	5,908,576	6,315,205
土地	4,406,492	4,507,186
リース資産	6,100	6,100
減価償却累計額	△593	△84
リース資産(純額)	5,506	6,015
建設仮勘定	680,441	1,099,246
その他	810,891	818,326
減価償却累計額	△717,249	△710,677
その他(純額)	93,642	107,648
有形固定資産合計	22,577,372	24,322,469
無形固定資産	113,428	125,598
投資その他の資産		
投資有価証券	3,687,656	3,265,645
長期貸付金	276,321	388,245
投資不動産(純額)	548,374	551,318
繰延税金資産	63,644	—
その他	501,256	572,664
貸倒引当金	△86	△86
投資その他の資産合計	5,077,167	4,777,787
固定資産合計	27,767,969	29,225,855
資産合計	50,466,323	52,561,748

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,352,721	2,293,803
短期借入金	3,399,563	3,654,718
リース債務	996	977
未払法人税等	728,095	1,258,123
賞与引当金	160,779	152,517
役員賞与引当金	—	52,700
その他	1,984,572	1,688,315
流動負債合計	8,626,729	9,101,156
固定負債		
退職給付引当金	568,369	570,552
役員退職慰労引当金	289,690	281,474
リース債務	4,883	5,386
繰延税金負債	—	175,488
その他	259,713	339,454
固定負債合計	1,122,656	1,372,356
負債合計	9,749,385	10,473,513
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,095,096	7,095,096
資本剰余金	7,833,869	7,833,869
利益剰余金	28,908,405	29,062,185
自己株式	△2,058,468	△2,058,368
株主資本合計	41,778,901	41,932,782
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	289,008	635,334
為替換算調整勘定	△1,578,489	△713,897
評価・換算差額等合計	△1,289,481	△78,563
少数株主持分	227,518	234,015
純資産合計	40,716,938	42,088,234
負債純資産合計	50,466,323	52,561,748

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	10,622,318	12,442,540
売上原価	7,348,265	8,567,670
売上総利益	3,274,053	3,874,870
販売費及び一般管理費	2,043,586	2,245,761
営業利益	1,230,467	1,629,108
営業外収益		
受取利息	22,592	22,978
受取配当金	29,640	31,625
受取家賃	13,875	13,984
有価証券売却益	14,803	—
その他	93,677	96,737
営業外収益合計	174,588	165,325
営業外費用		
支払利息	20,328	29,638
為替差損	93,469	246,958
デリバティブ評価損	127,325	280,516
海外新事業費用	26,012	—
その他	33,814	32,809
営業外費用合計	300,950	589,923
経常利益	1,104,105	1,204,510
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,695
固定資産除却損	—	3,836
特別損失合計	—	6,532
税金等調整前四半期純利益	1,104,105	1,197,978
法人税等	713,065	713,772
少数株主損益調整前四半期純利益	—	484,205
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△5,310	1,404
四半期純利益	396,350	482,800

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成22年7月1日 至 平成22年9月30日)
売上高	5,613,681	6,402,817
売上原価	3,905,601	4,384,683
売上総利益	1,708,080	2,018,134
販売費及び一般管理費	1,052,217	1,147,592
営業利益	655,862	870,541
営業外収益		
受取利息	10,108	14,869
受取配当金	840	870
受取家賃	6,277	6,348
デリバティブ評価益	—	123,506
その他	25,972	29,378
営業外収益合計	43,198	174,974
営業外費用		
支払利息	13,976	13,861
為替差損	76,866	65,874
デリバティブ評価損	190,666	—
海外新事業費用	12,051	—
その他	14,999	20,360
営業外費用合計	308,559	100,096
経常利益	390,502	945,419
特別損失		
投資有価証券評価損	—	2,171
固定資産除却損	—	3,836
特別損失合計	—	6,007
税金等調整前四半期純利益	390,502	939,411
法人税等	306,711	471,598
少数株主損益調整前四半期純利益	—	467,812
少数株主損失(△)	△6,630	△1,320
四半期純利益	90,420	469,133

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,104,105	1,197,978
減価償却費	980,887	875,381
のれん償却額	9,831	9,831
貸倒引当金の増減額(△は減少)	800	1,219
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△10,685	△2,182
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△6,849	8,216
賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,170	8,261
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△59,700	△52,700
受取利息及び受取配当金	△52,232	△54,603
支払利息	20,328	29,638
為替差損益(△は益)	109,271	261,896
有価証券売却損益(△は益)	△14,803	—
投資有価証券評価損益(△は益)	—	2,695
売上債権の増減額(△は増加)	△19,795	△435,399
たな卸資産の増減額(△は増加)	50,485	△340,338
仕入債務の増減額(△は減少)	104,174	64,774
その他	△216,981	227,825
小計	1,997,667	1,802,494
利息及び配当金の受取額	52,232	46,829
利息の支払額	△20,328	△29,638
法人税等の支払額	△181,214	△1,208,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,848,356	611,376
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	5,162,232
有価証券の取得による支出	—	△1,011,545
有価証券の売却による収入	102,273	—
有形固定資産の取得による支出	△737,045	△303,074
投資有価証券の取得による支出	△264,922	△1,000,000
貸付けによる支出	△355,150	△2,780
貸付金の回収による収入	21,908	26,103
その他	△5,431	△4,918
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,238,367	2,866,017
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	274,849	62,450
自己株式の取得による支出	△511	△442
自己株式の売却による収入	—	280
配当金の支払額	△637,456	△636,442
財務活動によるキャッシュ・フロー	△363,118	△574,155
現金及び現金同等物に係る換算差額	△79,545	△262,251
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	167,324	2,640,987
現金及び現金同等物の期首残高	8,209,823	9,513,872
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,377,147	12,154,859

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

各種天然調味料の製造、販売事業の売上高及び営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計及び営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

[所在地別セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

	日本 (千円)	その他の地域 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	9,698,328	923,989	10,622,318	—	10,622,318
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,486	430,716	433,203	(433,203)	—
計	9,700,815	1,354,706	11,055,522	(433,203)	10,622,318
営業利益(又は営業損失)	1,803,070	(557,059)	1,246,011	(15,543)	1,230,467

(注) 1. 国又は地域の区分は、経済活動の類似性によっております。

2. 本邦以外の区分に属する主な国又は地域

その他の地域……米国、中華人民共和国、中華民国、フランス共和国、ベルギー王国

[海外売上高]

前第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)

海外売上高は、連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

[セグメント情報]

当第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)

当社グループは、天然調味料事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

当第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」(企業会計基準第17号 平成21年3月27日)及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日)を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。